

2014年6月8日

ブライアン・ブルエット牧師

## クリスチャン経済における七本の矢-6

OICへようこそ。クリスチャン経済における七本の矢というシリーズのメッセージが皆さんの役に立っていることを願います。これら七本の矢を皆さんにご紹介するのは、私たちが健全で祝された教会へと神によって築き上げていただくためです。この数週間、矢を用いてお話する理由について、イザヤ書 49:2,3 のみことばをご紹介します。

イザヤ書 49:2,3 49:2 主は私の口を鋭い剣のようにし、御手の陰に私を隠し、私をとぎすました矢として、矢筒の中に私を隠した。 49:3 そして、私に仰せられた。「あなたはわたしのしもべ、イスラエル。わたしはあなたのうちに、わたしの栄光を現す。」

今まで学んだ五本の矢は、祈り、励まし、裁き、管理、そして霊的成長についてでした。今週は第六の矢について学びます。

### 第六の矢：信仰を重んじる教会

まず、信仰体系と単に信仰を持つこととの違いを説明しましょう。信仰体系とは、私たちが信じることです。私たちの信仰体系は、使徒信条にまとめられていると思います。

#### 使徒信条

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に死人の内よりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

私たちの信仰体系によると、神は父、御子、聖霊の三位一体の神であり、私たちは祈りをとおして神と通じ合うことができます。また、私たちは罪人で、救い主を必要としています。私たちの信仰体系の素晴らしい点は変化しないことです。そこに不一致はありません。神のみことばは昨日も今日も明日も同じです。私たちの信仰体系の中心は、私たちが救い主を必要とする罪人であるという事実です。

ローマ 5:8 しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。

使徒パウロはコリント第一 15:1-4 で、この事実を再確認しています。

コリント第一 15:1-4 15:1 兄弟たち。私は今、あなたがたに福音を知らせましょう。これは、私があなたがたに宣べ伝えたもので、あなたがたが受け入れ、また、それによって立っている福音です。 15:2 また、もしあなたがたがよく考えもしないで信じたのでないなら、私の宣べ伝えたこの福音のことばをしっかりと保っていれば、この福音によって救われるのです。 15:3 私があなたがたに最もたいせつなこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。キリストは、聖書の示すとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、 15:4 また、葬られたこと、また、聖書の示すとおりに、三日目によみがえられたこと、

聖書は、旧約聖書と新約聖書という大きく分けてふたつの部分で構成されます。旧約聖書は歴史について記されています。旧約聖書には、律法、預言、知恵、詩歌、歴史の書物があります。新約聖書には、イエスの生誕、死、埋葬、そして復活が記されています。新約聖書は、私たちは新約の教会であるという観点から、どのように生きるべきかを教えてくれます。また、イエスが再臨されるという確信を与え、その日までどう生きるかについての基準を与えてくれます。新約聖書の多くは手紙の形式です。その約半分は使徒パウロによって書かれたものです。聖書の概要や信仰体系についてもっと詳しく知りたい方は、ダン・ペリー師による水曜夜の学びにぜひご参加ください。第一に、私たちはイエス・キリストに信仰と信頼を置きます。イエスは、この教会そして大教会のかしらであり、すべての権威をお持ちです。イエスは、主であられることを示すために父なる神によってこの世に遣わされました。

**ヨハネ 3:16,17** 3:16 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。3:17 神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためである。

私たちクリスチャンは、信仰体系と信仰の実践を融合させます。心から聖書を信じる信仰は軌跡です。神を信じる信仰は、私たちが生まれ持ったものではありません。神のみことばもはっきりとそう語ります。

**ヘブル 12:2** 信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。イエスは、ご自分の前に置かれた喜びのゆえに、はずかしめをもものともせず十字架を忍び、神の御座の右に着座されました。

次のみことばも、同様のことを語ります。神が私たちの信仰の創始者であり完成者なのです。

**エペソ 2:8** あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。

この点を明らかにするために、もうひとつみことばを挙げましょう。

**ローマ 12:3** 私は、自分に与えられた恵みによって、あなたがたひとりひとりに言います。だれでも、思うべき限度を越えて思い上がってははいけません。いや、むしろ、神がおのおのに分け与えてくださった信仰の量りに応じて、慎み深い考え方をしなさい。

**ローマ 12:3** は、すべての信徒がある程度の信仰を持っており、神の助けによって神を信じ、神に仕え、神に栄光を帰することができるかと語ります。今日の聖書箇所は、ヤコブ 2:14-26 です。

**ヤコブ 2:14-26** 2:14 私の兄弟たち。だれかが自分には信仰があると言っても、その人に行いがなければ、何の役に立ちましょう。そのような信仰がその人を救うことができるでしょうか。2:15 もし、兄弟また姉妹のだれかが、着る物がなく、また、毎日の食べ物にもこと欠いているようなときに、2:16 あなたがたのうちだれかが、その人たちに、「安心して行きなさい。暖かになり、十分に食べなさい」と言っても、もしからだに必要な物を与えないなら、何の役に立つでしょう。2:17 それと同じように、信仰も、もし行いがなかったなら、それだけでは、死んだものです。2:18 さらに、こう言う人もあるでしょう。「あなたは信仰を持っているが、私は行いを持っています。行いのないあなたの信仰を、私に見せてください。私は、行いによって、私の信仰をあなたに見せてあげます。」2:19 あなたは、神はおひとりだと信じています。りっぱなことです。ですが、悪霊どももそう信じて、身震いしています。2:20 ああ愚かな人よ。あなたは行いのない信仰がむなしいことを知りたいと思

いますか。2:21 私たちの父アブラハムは、その子イサクを祭壇にささげたとき、行いによって義と認められたではありませんか。2:22 あなたの見ておられるとおり、彼の信仰は彼の行いとともに働いたのであり、信仰は行いによって全うされ、2:23 そして、「アブラハムは神を信じ、その信仰が彼の義とみなされた」という聖書のことばが実現し、彼は神の友と呼ばれたのです。2:24 人は行いによって義と認められるのであって、信仰だけによるのではないことがわかるでしょう。2:25 同様に、遊女ラハブも、使者たちを招き入れ、別の道から送り出したため、その行いによって義と認められたではありませんか。2:26 たましいを離れたからだが、死んだものであるのと同様に、行いのない信仰は、死んでいるのです。

今日の聖書箇所の中から、3種類の信仰について見ていきたいと思えます。

## #1 死んだ信仰

ヤコブ 2:14-17 2:14 私の兄弟たち。だれかが自分には信仰があると言っても、その人に行いがないなら、何の役に立ちましょう。そのような信仰がその人を救うことができるでしょうか。2:15 もし、兄弟また姉妹のだれかが、着る物がなく、また、毎日の食べ物にもこと欠いているようなときに、2:16 あなたがたのうちだれかが、その人たちに、「安心して行きなさい。暖かになり、十分に食べなさい」と言っても、もしからだに必要な物を与えないなら、何の役に立つでしょう。2:17 それと同じように、信仰も、もし行いがなかったなら、それだけでは、死んだものです。

死んだ信仰とは行いのない口先だけのものだとヤコブは言います。死んだ信仰の持ち主は、言うべきことを知っており、聖書箇所を引用することもあります。死んだ信仰は、頭の中だけに存在する知識上の信仰です。救いの教理を理解していても、主なるイエスに自分自身を明け渡してはいません。信仰を告白しながら、その信仰が生き方の変化や善行につながらないなら、それは偽りの告白であるか、信仰が死んでいるのです。聖書講解書の著者として有名なウォーレン・ワーズビーは、次のように語りました。「信仰をもってキリストのもとに来て、変わらずにいられる人はいない。」

II コリント 5:17 だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。

I ヨハネ 5:12 御子を持つ者はいのちを持っており、神の御子を持たない者はいのちを持っていません。

## #2 悪霊の信仰

ヤコブ 2:18,19 2:18 さらに、こう言う人もあるでしょう。「あなたは信仰を持っているが、私は行いを持っています。行いのないあなたの信仰を、私に見せてください。私は、行いによって、私の信仰をあなたに見せてあげます。」2:19 あなたは、神はおひとりだと信じています。りっぱなことです。ですが、悪霊どももそう信じて、身震いしています。

悪霊さえも、ある意味で信仰を持っています。この箇所から、イエスが神であることを信じていることがわかります。また、地獄へ送られることも知っています。だからこそ、身震いするのです。彼らは、火の池で永遠を過ごすことを分かっているのです。死んだ信仰と悪霊の信仰との違いはこうです。悪霊も知識の上での信仰を持っています。イエスについての知識があるということです。悪霊は同時に、感情的な信仰も持っています。しかし、救いに導く本物の信仰は、それだけでは不十分です。悪霊は知識上の信仰や感情の信仰がありましたが、キリストの主権に自分を明け渡そうとはしませんでした。

つまり、私たちの信仰は、私たちの人生を突き動かします。これが、「行い」とヤコブの呼ぶものです。救いに導く本物の信仰には、生き方の変化が必ず伴います。ここまで、今日の聖書箇所からそれぞれ死んだ信仰、悪霊の信仰とヤコブが表現するものについて見てきました。さて、これとは違った種類の信仰があります。

### #3 生きて働く信仰

ヤコブ 2:20-26 2:20 ああ愚かな人よ。あなたは行いのない信仰がむなしいことを知りたいと思いませんか。 2:21 私たちの父アブラハムは、その子イサクを祭壇にささげたとき、行いによって義と認められたではありませんか。 2:22 あなたの見ておるとおり、彼の信仰は彼の行いとともに働いたのであり、信仰は行いによって全うされ、 2:23 そして、「アブラハムは神を信じ、その信仰が彼の義とみなされた」という聖書のことばが実現し、彼は神の友と呼ばれたのです。 2:24 人は行いによって義と認められるのであって、信仰だけによるのではないことがわかるでしょう。 2:25 同様に、遊女ラハブも、使者たちを招き入れ、別の道から送り出したため、その行いによって義と認められたではありませんか。 2:26 たましいを離れたからだが、死んだものであるのと同様に、行いのない信仰は、死んでいるのです。

信仰は、神のみことばに基づくものですから、

ローマ 10:17 そのように、信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。

生きて働く信仰は、その人すべてに関わります。死んだ信仰は知識のみでした。悪霊の信仰は知識と感情のみでした。一方、生きて働く信仰は、知識、感情、そして何よりも私たちの意志に関わります。今日の聖書箇所、アブラハムは息子を捧げることをいといませんでした。また、遊女ラハブも使者たちを逃すために命の危険を冒すことをいといませんでした。これらの話はそれぞれでひとつの説教になるほどの内容ですから、今詳しくは話しません。今日の聖書箇所からわかることは、行いのない信仰は死んでいることです。さらに、24 節から、そのような信仰によって義と認められることはないこともわかります。救いに導く本物の信仰は、生き方の変化をもたらす、行いが必ず伴います。行いとは、御国のために私たちがする事柄です。どうすればキリストを信頼していることを表すことができるのでしょうか。

あるとき、私たち夫婦がキリストへの信仰を表さなければならぬできごとが起こりました。私は新しい教会を開拓中でした。ある土曜日の朝、開拓を手伝ってくれていた男性のひとりが突然訪ねてきました。開拓をしている地域の人々が伝道のメッセージを受け入れてくれているが、人々の変化を良く思わない人もいて、と言うのです。実際、多くの人々がクリスチャンになっていました。これを良く思わない人はこの男性に、もし伝道を続けるなら牧師を殺すと脅したそうです。どうしようかと思いました。というのも、私は次の日曜日にこの新しい教会で説教することになっていたからです。私たち夫婦はこの状況について祈りました。すると神は、この教会を始めるように私たちを召してくださったのは神だと語ってくださいました。この確信を胸に、新しい開拓教会の働きを続ける覚悟を決めました。次の日曜日、教会に着くと、神は私に「あなたを攻めるために作られる武器は、どれも役に立たなくなる」というみことばを与えてくださいました。神のみことばの約束を信仰によって私自身の人生に当てはめ、このみことばを握りしめました。教会に着くと、私たちに敵対している人たちが通りの向こう側に立っていました。彼らには目を留めず、私たちは教会に入りました。私たちの小さな群れも教会にやってきました。正直なところ、少し不安でした。自分のことだけでなく、そこに集まった人々のことが心配でした。礼拝が始まる前に、ナンシーが私のところに来てこう言いました。「ブライアン、私はドアのそばで見張っているわ。もしあの人

たちが近づいてきたら、知らせるわ。」このときのナンシーはとても勇敢な信仰を表したと思います。私は教壇に立ち、「あなたを攻めるために作られる武器は、どれも役に立たなくなる」というみことばから説教を語りました。神は私たちを守ってくださる主です。脅迫の内容が実行されるのを神はお許しになりませんでした。次の日、ナンシーがよいアイデアを思いつきました。この一件について話していた時、「ブライアン、日曜日に教会へ行くたびに信徒の命を危険にさらすわけにはいかないわ」とナンシーが言いました。こうして私たちは、私たちに敵対する人たちを訪ねることにしました。ナンシーが焼いてくれた手作りのブラウニーを手みやげに持っていきました。その人たちの家に行き、家の前にトラックを止めて扉をたたきました。出迎えた相手はずいぶん驚いた様子でしたが、数日前ほど腹を立てているようではありませんでした。聖霊がこの人たちの心に働いてくださったのだと、私は確信しています。手みやげのブラウニーを差し出すと、なんと彼らが家に招き入れてくれました。会話の中で、私たちは神の使節で、イエス・キリストの福音を告げ知らせるために来たことを話しました。話を終えて帰る前に、一緒に祈ってもよいかと尋ねると、承諾してくれました。もっと驚いたのは、次の日曜に説教のために教会に着くと、この人たちも教会に来たことです。彼らの手には、ナンシーが渡したブラウニーの容器がありました。その容器の中にはバナナがいっぱい詰まっていました。それは、私たちが受け入れられたというしるしでした。彼らはもはや脅威ではありません。その後、彼らも私たちの教会に集うようになりました。

## 結び

今日は神のみことばから、死んだ信仰、悪霊の信仰、そして生きて働く信仰があることを学びました。偽りの父であるサタンは、イエスについての知識があれば救われると世の中に信じ込ませようとしてきました。率直に言います。今までの人生で、自分が罪人であることを自覚し、救い主が必要だと気付いたことがありますか。そういう経験をして、イエスを受け入れますと祈ったなら、あなたは救われています。自分の罪を告白し、キリストを主として受け入れたなら、聖霊があなたのもとに来てくださいました。そして今、あなたの慰め主、導き手として働いておられます。また、聖霊なる神があなたの内に宿ってくださっています。信仰にある人々のすばらしいところは、聖霊によって皆がひとつに結ばれていることです。私たちは、聖書の教えに根差したキリスト中心の教会を目指しています。これを実現させてくれるのは、聖霊のご臨在です。また、私たちが神のみことばを知り、これを活用することによって、神のみこころにかなった教会となっていけるのです。今日皆さんの中で、クリスチャンになりたいという思いを持たれた方がおられましたら、会堂後方のリフトで祈り手が待機しております。本物のクリスチャンになるために必要な決心について、直接お話しさせていただきます。本物のクリスチャンになるなら、生きて働く信仰を体験するでしょう。